



We are 鶉っ子!

福井市鶉小学校

令和8年8月25日

第6号 文責：校長

学校教育目標

豊かな心を持ち たくましく生きる児童の育成

校訓(めざす児童像)

強い子 よい子 鶉の子

 チャレンジ
スマイル
サンキュー

明後日8月27日(木)からいよいよ1学期後半が始まります。スーパーエルニーニョ現象と言われている今夏でしたが、猛暑に加えて、各地で様々な災害が発生するなど、自然災害や気候変動への取組を考える必要を強く感じた夏でした。今年度は、6月には福井市の総合防災訓練に学校行事として参加しましたが、PTAのEブロック行事としても、11月に本校で「防災フェス」を行います。防災を考える上で、多くの方が参加できると思います。

本校の児童については、命に関わるような大きな事故の報告はなく、無事に学校が再開できそうであることを喜んでいます。しかし、子どもたちの内心は、夏休みが終わって残念な気持ちになっている子、友達と遊べることを喜んでいる子、体育大会などの秋の行事を楽しみにしている子など、様々だと思います。中には、家庭から学校生活への変化に対する不安等から、学校へ行きたくないと言い出したり、不調を訴えたりする子もいると思います。そんな場合でも、思いを汲んで、寄り添いながら、支えていく視点が大事だと考えます。たとえつらい気持ちがあっても、「つらい」と言える環境があれば、つらさは和らぎます。逆に思いを自分で封じ込めてしまい、表面には全く表さないような子もいます。我慢強さがデメリットになってしまうようなこともあります。**先回りして手を差し伸べることは適切ではありませんが、子どもは一人一人異なるという視点で、大人が様子をよく見ることが大事だと思います。**

教育を植物の成長に例えることがよくありますが、土壌を作り、種を蒔き、芽が出てきたからと言って、引っ張って成長をさせることはできません。水をやらなければ枯れますが、肥料をやり過ぎても枯れてしまいます。また自分の思っている花と違うからといって、別の花を咲かせることもできません。大事なことは、状況にあった世話をしながら、「成長を待つこと」です。成長がゆっくりだと心配になりますが、周りが心配したところで成長のスピードは変わりません。それなら寄り添いながら、適切な世話をしながら、成長を見守る方がいいです。**枯れなければ、「自らの力」で成長をします。**

我々教職員は、そのような思いで、子どもたちの主体性を大切にしながら関わって参ります。思いを汲みながら、子どもと共に考え、最後は自分自身で決めることを大切にします。成長を植物に例える「プラントモデル」については昨年度も書かせていただきましたが、改めて再認識できるように、リマインドさせていただきました。今後も、学校教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、夏休み明けより、育児休暇を終えて2名の教職員が復職します。担任の変更はありませんが、時間割の変更や教科担当の変更等がある学年があります。詳しくはtetoruにてお知らせします。



北海道上砂川中央小学校 との児童交流

7月30日～8月2日の4日間、北海道上砂川町と鶉地区の児童交流事業で、6年生4名が上砂川町を訪れました。主催は、鶉の郷づくり委員会で、校長も引率補助として参加しました。

上砂川町と鶉地区のつながりは、明治32年に、鶉出身の山内甚之助氏らが、北海道開拓のためにこの地に入り、町を作ったことがルーツです。上砂川町には

「鶉」の字が入る地名が数多くあり、それを調べた上砂川町の教員、大西ヨシ子さんがこの由来を突き止め、交流が始まりました。児童交流は平成24年から始まり、隔年で行き来することで、今年が12回目の交流でした。(コロナ禍は中断)

参加した4名の児童は、4日間親元を離れ、見たことのない景色を見て、同年代の児童と友達になり、福井ではできない数々の経験を得ることができました。すごく価値があったと思います。夏休み前の集会で、「今年の夏は今年しかありません。小学校〇年生の夏は、一生に一回きりです」と話をしましたが、4名の6年生は、思い出に残る小6の夏休みとなったのではないのでしょうか。

上砂川町では、町長、町議会議員、教育長を始め、地域の皆様が私たちを本当に温かく迎えてくださいました。歴史が紡ぐ地域の繋がりを感しました。

次年度は、上砂川から鶉地区に来ていただく番となります。今年参加した児童が感じたように、交流を深め、上砂川の子どもたちに福井の夏を楽しんでもらいたいと思います。



鶉・宮ノ下地区の魅力を紹介しました



ゲームなどを通して交流を深めました



札幌市内が一望できる大倉山シャンツェ

～夏休み中の職員室から～



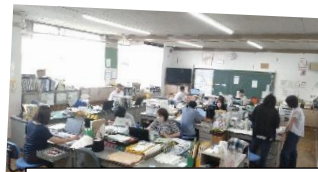
最近オンライン研修が多いです



授業の教材を考えています



新しいiPadを準備しています



普段より職員室に人が多い!

教職員は閉庁期間以外は休みではありません。児童不在のため、スキルアップのための研修、行事準備、教材研究、事務仕事などが主な仕事です。リラックスして仕事をしながら、エネルギーを充填するのが教職員の夏休みです。

【お知らせ】

- ・給食室空調設備の工事の関係で、児童玄関周辺での業者による作業がしばらく続きます。登下校時は作業を行わない予定ですが、お迎えの際など、来校時には十分ご注意ください。また資材等も置かれているので気をつけてください。
- ・本校児童が、放課後や休日などに、校庭で運動をしたり遊んだりする場合は、保護者の方の責任の下でお願いします。本校児童の利用については許可を不要としますが、安全面についての配慮とともに、ゴミの放置や自転車の乗り入れなどのモラル違反、ルール違反などが無いようご注意ください。また、使用申請が出ている団体(野球など)が使用している時間帯は、校庭に立ち入ることはできません。

～鶉小学校PTAより～

11月8日(日)に、鶉小学校体育館にて、市P連Eブロック主催の『防災フェス』を予定しています。9月下旬に案内を出します。
さまざまなコーナーだけでなく、防災関連のお土産も予定していますので、奮ってご参加いただきますようお願いします。

鶉小学校のHP

<https://www.fukui-city.ed.jp/uzura-e/>



ご意見ください <E-mail>
uzura-e@fukui-city.ed.jp